

気づいてよ！ 子どもの心の叫び

～当事者の声に耳を傾け、
いま私たちにできることを考える～

「クズ」と呼ばれた、わたしのいのち

保育士の母に「クズ」と呼ばれ、いのちを否定され、小学校で6年間イジメにも遭い、「今日一日を生きたこと」への罪悪感にまみれて、それでもわたしは生き抜いた。最近増加の一途を辿る児童虐待問題。苦しい思いを抱えながら、たった一人で闘って、何も言えずに命を落としてゆく、そんな命を思うとやりきれなくて、せめて誰かに知って欲しいという一心で過去を綴る唄をうたい始めました。

「児童虐待」を伝えたい。「見えない虐待」の存在を知って欲しい。わたしは虐待を受けていた、子どもの頃の目線で話し、唄います。ただそれだけしか出来ませんが、長年続かなかしみを、涙を、葛藤を、わたしの受けた「児童虐待」を通して知っていただければ幸いです。（by イクラ：元母子間虐待&イジメ被害児、現・唄い手）



平成27年

7月5日(日)

定員：150名（事前申込み※ 先着順）

※空きがあれば当日受付けも可

【開場】13:00 【開演】13:30

港区立男女平等参画センター リーブラホール

東京都港区芝浦1-16-1
みなとパーク芝浦・1階

共催：みなとチャイルドライン・子ども電話、NPO法人男女平等参画推進みなと

後援：港区、港区教育委員会、チャイルドライン東京ネットワーク

お申込み等の詳細は
裏面をご覧ください

公開講演会「気づいてよ！子どもの心の叫び」

【開催要綱】

テーマ：気づいてよ！子どもの心の叫び

～当事者の声に耳を傾け、いま私たちにできることを考える～

日 時：平成27年7月5日（日）13：30～15：30

13:00 開場 （受付番号のある方）
13:15 当日受付（受付番号のない方）
13:30 開会式 （主催者あいさつ）
13:40 第1部：基調講演（イクラさん）
「唱と語りによる問題提起」
14:45 第2部：トークセッション（イクラさんと主催者代表）
「いま私たちにできることを考える」
15：20 閉会式
15：30 散会

会 場：東京都港区立男女平等参画センター「リーブラホール」

対 象：子どもたちを取り巻く問題に関心のある方ならどなたでも

参加費：無料

定 員：150名（事前申込み・先着順 ※定員になり次第、申込みを終了します）

申込み：事前申込みにより「受付番号」をお知らせします。

<https://minato0705.netowl-mailform.jp/>

問合せ：minato0705.entry@gmail.com または 070-6475-7210

託 児：一時保育あり（4か月～未就学児。定員あり・先着順。6月25日までに要予約）



【会場案内】

港区男女平等参画センター

「リーブラホール」

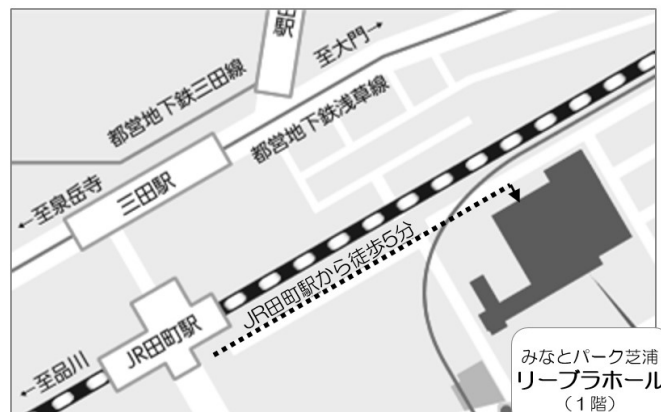
〒105-0023

東京都港区芝浦1-16-1

みなとパーク芝浦・1階

TEL：03-3456-4149

※JR田町駅東口より徒歩約5分



みなとチャイルドライン・子ども電話

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用電話」を開設しています。

子どもの心の声を聴いて受けとめ、子ども自らが自分の課題に向き合うことができるよう、地域で「電話を通じた心の居場所」を作ることが目的としています。

また、子どもたちの声から見えてくる現代社会の課題や人間関係の問題を広く伝えるなど、子どもたちが笑顔になれる社会の実現に向けた啓発活動に取り組んでいます。

※「受け手養成講座」を10月に開講予定です。

NPO法人男女平等参画推進みなと

男女平等をさまざまな角度から推進する地域密着型のNPOです。

女性の自立に向けた支援事業などを通して、男女平等参画社会の実現を図り、地域社会の中の誰もが個性と能力に応じて自分らしい生き方ができる社会づくりに寄与することを目的としています。

「ほっとスペースolive」やステップハウスの運営、「DV根絶パネル」の貸出、GEM通信発行などを行っています。